

2013年4月9日 16:08:28

タイトル

閉じる

印刷用ページ

授業科目名	科目区分	
Communicative English IV N (2)	コミュニケーション科目	
	時間割コード	
講義題目	041445	
英語ライティング演習	年度	時間割
	2013	前期 金2
担当教員	単位数	教室
長井 克己[Nagai Katsumi]	1	
	対象年次及び学科	
	3～ 全学共通科目	

関連授業科目

Communicative English I/II/III

履修推奨科目

学習時間

授業90分×15回＋授業外学習

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、これまでの英語の授業（Communicative English I/II/III）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は受講生のライティング能力の育成に重点を置いています。15回の授業を通して受講生の英語でのライティング能力を向上させることを目的とします。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 辞書等のツールを用いて適切さと正確さに配慮しながら英文を書くことができる。
3. 英語の新聞記事を読んで語彙を増やし、内容について説明できる。

成績評価の方法と基準

Presentation on newspaper articles: 20%, Handout (pdf): 20%, Mid-term exam 1: 30%, Mid-term exam 2: 30%.

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

担当者の発表と資料を参考に毎週新聞記事を読み、語彙や表現を豊かにします。試験では語彙のみ出題します。次に教科書を用い、英文ライティングの練習を行います。教科書は Task 1 とその Model Text を主に利用し、その部分だけを試験範囲とします。

【授業計画】

第1回：introduction to the course

第2～6回：reading/writing work (2 articles + 1 unit /wk)

第7回：mid-term exam 1

第8～13回：reading/writing work (2 articles + 1 unit /wk)

第14回：mid-term exam 2

第15回：follow-up

【授業外学習に関するアドバイス】

各週の語彙や構文を毎週復習して覚えていくこと。

新聞記事の発表者は、前日正午までにハンドアウトをpdf形式にしてメールの添付ファイルとして提出すること。

教科書・参考書等

Textbook:

McCarter, S. and Whitby, N. (2007).

Improve your IELTS Writing Skills.

Oxford: Macmillan. (ISBN 9780230009448)

新聞記事は1回目の授業時に配布。

オフィスアワー

授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

欠席回数が4回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。

参照ホームページ